

長崎で女性懇談会を開催

8月7-8日、第2回女性懇談会を長崎市で開催した。7日は昼に長崎空港に集合した後、三菱重工長崎造船所を見学し、新型護衛艦の連続建造の様子などを見ることができた。

8日は午前中、平和公園を訪れ、平和の泉に献花をした。この泉は被爆者の慰霊と世界平和を願って、KAKKINが昭和44(1969)年に建設し、長崎市に寄贈したものである。なお泉には、長崎市の9歳の少女の手記が刻まれた石碑が立っている。

「のどが乾いてたまりませんでした
水にはあぶらのようなものが一面に浮いていました
どうしても水が欲しくて
とうとうあぶらの浮いたまま飲みました」

また公園内には平和の樹や平和の森と名付けられたKAKKINが植樹した木々もあり、運動の先人たちの活躍に敬意を表した。次いで原爆資料館に移動し、被爆の実相について理解を深めた。なお館内では、UAゼンセン長崎県支部の田栗恵さんに案内役を務めていただいた。そして午後からは平和全国集会に参加し、決意も新たに核兵器廃絶を誓った。



三菱長崎造船所・旧木型場（現資料館）前



平和公園「平和の泉」に献花